



七峡だより

令和6年11月29日
荒川区立第七峡田小学校
校長 関川 浩

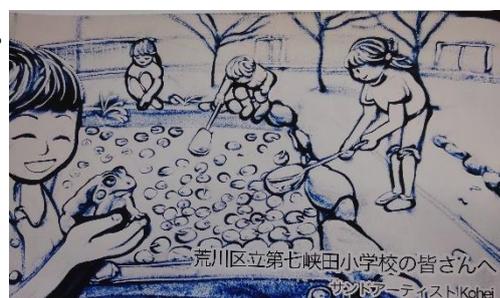
「力を合わせて・・・」

副校長 杉山和美

今、子供たちは、3年に一度の展覧会に向けて共同作品など最後の仕上げに作りに取り組んでいます。「展覧会って、体育館が美術館になるんですよね。」「みんなの作品、楽しみだな。」元気に外遊びをしていた2年生の言葉です。一人一人の作品はもちろんですが、学年で力を合わせた作品、5年生と町屋幼稚園の園児たちと一緒に作った作品、クラブで作った作品など、子供たちの思いが込められた『世界にたった一つの作品』が体育館に大集合します。7日(土)は、保護者鑑賞日ですので、多くの方にご鑑賞いただきたいと思います。よろしくお願いたします。

今年度が展覧会ということで、10月にサンドアーティストのKoheiさんに来ていただき、芸術鑑賞教室を実施しました。砂で作成した作品を観たときや実際に体験したときの子供たちの生き生きとした姿を見て、体験活動の重要性を改めて実感しました。

芸術鑑賞教室の他にも、ピオトープ学習、早稲田大学事業による出前授業、租税教室、JICA、職人教室、東京読売ジャイアンツによる野球教室、書き初め教室など外部講師による体験学習で子供たちが大変お世話になりました。3学期もお琴の先生による学習等が予定されています。2年生の町探険や3年生のスーパーマーケット見学など、地域の方々のご協力もありがたく思っております。これからも子供たちの学びを確かな力にしていくために、保護者の皆様・地域の皆様・外部講師等と連携を大切にしていまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



Koheiさんが、七峡の子たちが自然に親しんでいると聞き、七峡小のために、サンドアートを作成していただきました。

12月の主な行事

- 12月 3日(火) 区学力向上のための調査(1年生) アイ・チェック(全学年)
- 6日(金) 展覧会 児童鑑賞日
- 7日(土) 展覧会 保護者鑑賞日 银杏の会による餅つき体験(2年生)
- 5日(木)・12日(木)・19日(木) 書道連盟の先生方による書き初め教室
- 13日(金) 持久走記録会(尾久の原公園)
- 16日(月) 消防署見学(3年生)
- 17日(火) TOKYO GLOBAL GATEWAY(6年生)
- 20日(金) 避難訓練
- 24日(火) 給食終 大掃除
- 25日(水) 2学期終業式
- 26日(木) ~1月7日(火) 冬季休業日 (1月8日 3学期始業式)



展覧会について

展覧会委員長 澤井 匡子

今年の展覧会スローガンは「あふれ出せ 自分の色を 作品へ」です。1学期から試行錯誤を繰り返しながら作品と向き合い完成させました。1人1人の個性あふれる作品を会場でご覧ください。12月6日(金)は児童鑑賞日、7日(土)が保護者鑑賞日となります。詳しくは、別紙配布のお手紙とプログラムをご覧ください。

持久走記録会について

担当 吉野 真由

12月13日(金)に持久走記録会を尾久の原公園で行います。本番に向けて、マラソントイムや体育の授業で練習を始めました。児童一人ひとりが達成感を得られるように教職員一同取り組んで参ります。寒い日が続きますが、ご家庭でも体調を整えて臨めるようにしてください。

お知らせとお願い

令和6年度の荒川区教育委員会褒章の募集が行われます。ご家庭での習い事であっても大きな大会やコンクール等で好成績であった場合、対象となることがあります。令和6年1月以降でまだ受賞していないものにつきましては、確認を致しますので、12月10日までに担任まで申し出ていただきますようお願いいたします。

合唱鑑賞教室 ～5年生が、サンパール荒川での合唱鑑賞教室に参加してきました。～

児童の感想

今回の合唱教室では事前に、歌声が重なったり響いたりするところ、歌う姿勢、音の高低差に気を付けて聞き、自分の合唱に生かしたいと考えて行きました。実際に聞くと、歌声がすごくきれいだと思います。声がすごく透き通っていて、高い声と低い声の使い分けがすごかったです。ソプラノ、アルト、テノール、バスのそれぞれの声の違いがあって、重なりがすごく素敵でした。また、中には男の人でもソプラノくらい高い声を出せる人もいてすごいいいと思いました。歌っているときに、指揮者の人をしっかりと見ていて、大切なんだと気付きました。横からも、前からも声が響いてきて、迫力がすごかったです。来年の音楽会に生かしたいと思います。(5-1)

初めて本格的な合唱鑑賞に行きました。歌によってどのように声の大きさや高さが変わるのか、女声合唱、男声合唱でどのような違いがあるのかなどに注目して聞きました。実際に聞いてみると、強弱を意識して歌っていたり、高い音と低い音の重なりがとても綺麗だったりして、キラキラしていました。特に「いのちの歌」では、命の大切さや生きるたくましさなどを強く感じる歌い方だと感じました。また、同じ女声合唱でも、ソプラノやアルトに分かれて様々な歌を歌い分けていたことにも、とても驚きました。すぐ隣にきて歌ってくれた時は、一人の声とは思えないくらい迫力があって、一緒に歌えたことがうれしかったです。また、聞きに行きたいなと思いました。(5-2)

12月の生活指導目標【気持ちよい言葉づかいをしよう】

生活指導主任 近藤実乃里

人と人のつながりを円滑にするために、言葉づかいは大切な役割を果たします。相手に心を込めて丁寧な言葉であいさつをしたり、話したりすることは、お互いの関係をよりよいものにするために大切です。学校では、自分の発した言葉で相手やその周りの人がどのような気持ちになるかを考えて話すように日々指導しています。相手のことを思いやり、心が温くなる言葉を選んで使うことができるようになってほしいと思います。ご家庭でも、言葉づかいについて話し合ってみてください。